

令和 2 年 6 月 10 日現在

機関番号：12601  
研究種目：基盤研究(B) (一般)  
研究期間：2017～2019  
課題番号：17H02228  
研究課題名(和文) 中東地域を中心とするイスラーム圏の宗教・民族・社会的多様性に関する総合的研究  
  
研究課題名(英文) Multidisciplinary Study of the Religious, Ethnic and Social Diversity of the Islamic World  
  
研究代表者  
高橋 英海 (Takahashi, Hidemi)  
  
東京大学・大学院総合文化研究科・教授  
  
研究者番号：20349228  
交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,700,000円

研究成果の概要(和文)：中東地域を中心とするイスラーム地域における支配集団と非支配的な民族・宗教/宗派・集団の相互関係を研究することを通じて、イスラーム世界の多様性と共存/排除の構造を浮き彫りにすることを試みた。具体的には、(1)「中東地域における宗教的・社会的少数派」、(2)「イスラームにおける少数派の思想と実態」、(3)「現在と過去の接点としての移動・法・ジェンダー」という3つの研究課題を設け、歴史学、文献学、法学、ジェンダー論の手法を用いて学際的に考察を行った。

#### 研究成果の学術的意義や社会的意義

民族・宗教・社会的多様性という観点から、文献学、宗教学、歴史学、法学、ジェンダー論といった異なった背景を持つ研究者が協働して当該地域を扱う学際的かつ分野横断的な研究は、わが国においてこれまでに比較的数少なく、本研究を通して中東研究の一つの新たな手法を提示することができた。本研究を通して行った試みは、わが国が目指している、中東および周辺地域の国々との重層的な関係の構築に資するだけでなく、中東・イスラームを越えた、グローバルな共生や多文化理解のあり方を模索するうえでも、一定の貢献をなすものと考えられる。

研究成果の概要(英文)：An attempt was made to highlight the ethnic, religious and social diversity of the so-called Islamic World and to delineate the mechanisms of coexistence and of exclusion between the dominant/majority groups and weaker/minority groups in various parts of the Middle East and the adjacent regions through a study of the interrelationships between the groups using the approaches of historical, philological, legal and gender studies. The main themes of the study included the “Religious and Social Minorities in the Middle East”, “Thought Systems and Present State of Minority Groups within Islam” and “Movement, Law and Gender as the Point of Contact between the Past and the Present”.

研究分野：文献学

キーワード：西アジア・中央アジア 中東地域 少数派 多様性

## 1. 研究開始当初の背景

わが国におけるイスラーム理解はこの数十年で大きな進歩を遂げているが、いまだにイスラーム世界を画一的に捉えようとする傾向が強い。しかしながら、中東を中心とするイスラーム地域のもっとも大きな特徴はその民族・宗教・社会的多様性であり、当該地域がわれわれに突き付けてくる諸問題の背景にある事情の的確な把握には、そのような多様性についての、過去の歴史に根差した深い理解が欠かせない。21世紀の初め以来、武力紛争と政治的混乱が収まることのない中東地域において状況の收拾を困難にしている最大の要因も当該地域の民族的・宗教的・社会的な多様性である。2003年の米軍侵攻以来政治的な混乱が絶えることのないイラクにせよ、2010年に始まった「民主化運動」を契機として内戦状態に陥ったシリア、イエメンにせよ、中東各地で起きている紛争はしばしば宗派間、民族間の争いの様相を帯びている。それぞれの国での混乱を長期化させている主要な要因は世界の強国や周辺国による干渉だが、そのような外部のアクターがそれぞれの思惑によって特定の集団を支持し、利用していることが紛争の継続につながっていることは明白である。同時に、中東地域は、アダムとイブが樂園を追放されたとされる歴史の幕開け以来、多種多様な民族や宗教・宗派、社会層の人々が混在し、あるときは共存し、あるときは紛争とその結果としての移住を繰り返しながら暮らしてきた地域でもある。多様性を創り出してきた過去の歴史と、歴史を動かしてきた思想的な展開や社会状況を顧みつつ、当該地域に暮らす（あるいは、先祖代々暮らしてきたその土地を後にすることを余儀なくされている）様々な民族・宗教／宗派・社会的集団の実態をよりの確に把握することが喫緊の課題となっている。

## 2. 研究の目的

本研究においては、気鋭の研究者を中心とした研究チームを編成して、国内外の各学問分野の指導的研究者の協力を仰ぎつつ、中東を中心とするイスラーム地域における非支配的な民族・宗教／宗派・集団の実態を3年の期間をかけて実証的に解明する。具体的には、「中東地域における宗教的・社会的少数派」、「イスラームにおける少数派の思想と実態」、「現在と過去の接点としての移動・法・ジェンダー」という三つの研究課題を設け、それぞれを人文科学的・社会科学的手法を駆使して考察する。「中東地域における宗教的・社会的少数派」としては、コプト教会、シリア正教会、アッシリア東方教会などのキリスト教諸教会に加えて、クルド人をはじめ、中東各地に離散するアルメニア人などの民族・言語的少数派を取り上げる。「イスラームにおける少数派の思想と実態」においては、イバード派、シーア派諸派、そしてアラウィー派やドゥルーズ派などのシーア派から離脱した極端派の思想的展開とそれぞれの宗派が置かれている現状についての考察を深める。「現在と過去の接点としての移動・法・ジェンダー」においては、法学およびジェンダー論の方法論を用いて、現在の紛争と政治的混乱によって生じている移動と、それによって生じる家族法などの「法の移動」、また移動によって変化を迫られるジェンダー関係を明らかにする。このような分析を通じて、中東を中心とするイスラーム地域に暮らす多種多様な集団の実態を明らかにし、それによって彼らの未来を展望する。研究の推進に当たって、三つの研究班の間で密接に連絡を取り合い、異なったディシプリンを持つ研究者の集いという利点を大いに活用して研鑽を深め、それにより、中東地域の重層的かつ動的な構造を理解するための、新たな学問的アプローチの創造についても模索する。

## 3. 研究の方法

本研究は研究代表者および研究分担者のうちの3名が所属する東京大学中東地域研究センターを拠点として、3年間にわたって行った。具体的には、以下の三つの研究班を編成し、研究プロジェクトを推進した。I. 「中東地域における宗教的・社会的少数派」、II. 「イスラームにおける少数派の思想と実態」、III. 「現在と過去の接点としての移動・法・ジェンダー」。三つの班は、それぞれの課題を思想史、歴史学、社会学的手法から考察した。各研究班は互いに連携しつつ、資料調査および現地調査を進め、最終年度には、三班の成果を統合する形で本研究の目的の実現を目指した。

## 4. 研究成果

研究代表者および分担者は、上記の各研究課題について調査を進めると同時に、定期的に会合を持って互いの研究について意見交換を行った。課題(1)「中東地域における宗教的・社会的少数派」については、(a)「中東各地に散在する諸キリスト教集団の生存戦略」、(b)「クルド系住民の歴史的共存の実態」などのテーマを設定して調査・研究を進めた。課題(2)「イスラームにおける少数派の思想と実態」については、(a)「初期アラウィー派共同体の形成と自己認識」、(b)「イバード派イスラーム思想における多様性と統一性の理解」、(c)「近世・近代シーア派イランにおけるイスラーム神秘主義教団の存続」の3点についての調査と検討を行った。課題(3)「現在と過去の接点としての移動・法・ジェンダー」については、(a)人の移動にともなう「法の移動」、b)移動と女性のインターセクショナルリティ(交差性)などに開

する研究を行った。また、それぞれの課題に取り組む以上の研究を通じて、非支配的な民族・宗教／宗派・集団の動態と、これらの集団内部にある関係性を解明するための新しい学問的アプローチの創造を試みた。最終年度には、グループが研究成果を持ち寄り、相互に検討しあう場としての全体の研究発表会を行い、研究のとりまとめと最終的な研究成果発表の準備を進めた。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計18件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 菊地達也	4. 巻 50
2. 論文標題 『英知の書簡集』の宇宙創成論：「真理の開示」翻訳(2)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 慶應義塾大学言語文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 243-254
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菊地達也	4. 巻 12
2. 論文標題 書評 井筒俊彦 『クルアーンにおける神と人間 --クルアーンの世界観の意味論』	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 イスラーム世界研究	6. 最初と最後の頁 259-263
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 43-2
2. 論文標題 『生活の質向上プログラム』が示す『公共圏』拡大の兆しと社会的アクターとしての女性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 14-22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 43-9
2. 論文標題 サウジアラビアにおける女性の運転解禁：女性たちはハンドルを握るのか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 10-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 534
2. 論文標題 ムハンマド皇太子の『改革』とジェンダー 後期レンティア国家における『管理された解放路線』のゆくえ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中東研究	6. 最初と最後の頁 45-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 43-12
2. 論文標題 ノルウェーにおけるアラブ人庇護申請女性らの戦略	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 18-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 阿部尚史	4. 巻 980
2. 論文標題 「不安定」に満ちた文書調査 イランにおける文書館利用と文書調査	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 43-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 辻明日香	4. 巻 83
2. 論文標題 十字軍と中東のキリスト教徒(特集 宗教的「他者」化と共存のポリティクス)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 史潮	6. 最初と最後の頁 4-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hidemi Takahashi & Naohide Yaguchi	4. 巻 15
2. 論文標題 On the Medical Works of Barhebraeus: With a Description of the Abridgement of Hunain's Medical Questions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Aramaic Studies	6. 最初と最後の頁 252-276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1163/17455227-01501005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 辻明日香	4. 巻 17
2. 論文標題 エジプトナイル中流域のキリスト教社会	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 フィールドプラス	6. 最初と最後の頁 10-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 42-1
2. 論文標題 サウジ国王訪日と日本に期待されるソフトバリュー	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 21-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 42-2
2. 論文標題 サウジアラビア王位継承の新たな展開：三層構造の王朝君主制	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 23-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 46
2. 論文標題 サウジアラビア『汚職摘発』の波紋	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 130-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 42-8
2. 論文標題 サウジアラビアの自動車運転解禁：女性運転手参入による変化と展望	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 26-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naofumi Abe	4. 巻 10-2
2. 論文標題 The Politics of Poetics in Early Qajar Iran: Writing Royal-Commissioned Tazkeras at Fath-Ali Shah 's Court	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Persianate Studies	6. 最初と最後の頁 129-157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1163/18747167-12341311	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naofumi Abe	4. 巻 28
2. 論文標題 Mausoleums in Safavid Family History: An Unpublished Royal Edict from the Ardabil Shrine (912/1507)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 DYNTRAN Working Paper (online edition)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡部良子; 阿部尚史	4. 巻 94
2. 論文標題 16世紀サファヴィー朝期のペルシア語財務・簿記術指南書 ギヤーススディーン・キルマーニーの簿記 術論文・序章簿記論校訂・日本語訳注	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア・アフリカ言語文化研究	6. 最初と最後の頁 383-485
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 桑原尚子	4. 巻 66
2. 論文標題 東南アジア法史研究回顧 二. マレーシア法制史研究の状況	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 法制史研究	6. 最初と最後の頁 144-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

[学会発表] 計25件 (うち招待講演 11件 / うち国際学会 15件)

1. 発表者名 Hidemi Takahashi
2. 発表標題 On Some Recent Discoveries (and Rediscoveries) Relating to Syriac Christianity in China
3. 学会等名 Second International Conference of Aramaic and Syriac Studies in Egypt and the World (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hidemi Takahashi
2. 発表標題 Barhebraeus comme philosophe : la philosophie de Barhebraeus ou les oeuvres philosophiques de Barhebraeus ?
3. 学会等名 16e Table ronde internationale de la Societe d'etudes syriaques (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Hidemi Takahashi
2. 発表標題 Barhebraeus and the Church of the East
3. 学会等名 Syriac Christianity at the Crossroads of Cultures: A Conference Commemorating the 700th Anniversary of Abdisho of Nisibis (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hidemi Takahashi
2. 発表標題 The Chinese Manichaean Prayer of St. George and Other Traces of the Descendants of Syriac Christians in China
3. 学会等名 9th World Syriac Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高橋英海
2. 発表標題 シリア・キリスト教の伝統における「エキュメニズム」
3. 学会等名 中東の少数派の思想・運動に関する研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辻上奈美江
2. 発表標題 石油依存からの脱却をはかるサウジアラビア 改革で社会は転換できるか 第一回『沙漠の国から近代国家へ』
3. 学会等名 調布市東部公民館講演会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 辻上奈美江
2. 発表標題 石油依存からの脱却をはかるサウジアラビア 改革で社会は転換できるか 第二回 『ムハンマド皇太子の改革のゆくえ』
3. 学会等名 調布市東部公民館講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yohei Kondo
2. 発表標題 Rashid b. 'Umayra al-Rastaqi and Medical Treatment in Sixteenth-Century Oman
3. 学会等名 9th Conference on Ibadi Studies: China and the World (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yohei Kondo
2. 発表標題 Mutual Efforts for Coexistence: Muslim Groups in Oman
3. 学会等名 6th meeting of ILCAA Joint Research Project Studies on Religious and Politico-Social Minority Groups in Middle Eastern Societies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yohei Kondo
2. 発表標題 The Khojah Community and Nation-Building in Oman
3. 学会等名 5th meeting of ILCAA Joint Research Project Studies on Religious and Politico-Social Minority Groups in Middle Eastern Societies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤洋平
2. 発表標題 近現代オマーンにおける他宗派理解
3. 学会等名 中東の少数派の思想・運動に関する研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hidemi Takahashi
2. 発表標題 Survival of Christianity in China: Remarks on Some Recent Discoveries
3. 学会等名 Symposium: Minorities in the Middle East (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hidemi Takahashi
2. 発表標題 On Some Syriac Scribes and Scholars of the Early Modern Period: Readers and Copyists of Barhabraeus' Works
3. 学会等名 Workshop: Syriac and Its Users in the Early Modern World c. 1500-1750 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hidemi Takahashi
2. 発表標題 What the Recent Finds Tell Us about the Practice of Faith among the Syriac-Rite Christians in China
3. 学会等名 基督宗教研究論壇(二零一七)、景教研究国際論壇: 景教徒在華生活与信仰实践(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hidemi Takahashi
2. 発表標題 Syriac Christianity in Tang and Yuan China: Remarks on Some Recent Discoveries
3. 学会等名 北京大学国際漢学家研修基地国際漢学系列講座第九十二講(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hidemi Takahashi
2. 発表標題 Syriac Christianity East of the Pamirs: On Some New Finds and Their Significance for the Understanding of Eurasian Christianity
3. 学会等名 International Conference "Georgia-Byzantium-Christian East(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高橋英海
2. 発表標題 シリア・イラクのキリスト教徒の移動の歴史
3. 学会等名 講演会「シリア・イラク情勢と移民のいま」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hidemi Takahashi
2. 発表標題 The Attitude of Barhebraeus towards Islam and Islamic Scholars
3. 学会等名 International Medieval Congress 2017(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高橋英海
2. 発表標題 中国とその周辺におけるシリア語とシリア・キリスト教 最近の発見を中心に
3. 学会等名 第78回羽田記念館定例講演会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 辻明日香
2. 発表標題 十字軍と中東のキリスト教徒
3. 学会等名 歴史学会第42会大会[シンポジウム：宗教的「他者」化と共存のポリティクス]
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Naofumi Abe
2. 発表標題 Poetry and Authority at Fath- 'Ali Shah 's Court: " Bazgasht-e Adabi " and the Emergence of a New Tazkere genre in Early Modern Iran
3. 学会等名 Universita degli studi di Napoli " L ' Orientale "（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阿部尚史
2. 発表標題 近代イラン社会における婚姻慣行：法制度と実態
3. 学会等名 第9回近代中央ユーラシア比較法制度史研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Naofumi Abe
2. 発表標題 Indigenous Armenian under Safavid and Qajar sovereignty
3. 学会等名 The Eighth Biennial Convention of the Association for the Study of Persianate Societies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hidemi Takahashi
2. 発表標題 The Role of Syriac in the Propagation and Transmission of Knowledge within and beyond the Borders of the Roman Empire
3. 学会等名 論壇「羅馬帝国与東西方文明」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hidemi Takahashi
2. 発表標題 Topics in Science in Syriac Transmission
3. 学会等名 Workshop: Late Antique Science and Religion (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計9件

1. 著者名 山口昭彦編著	4. 発行年 2018年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 352
3. 書名 クルド人を知るための55章	

1. 著者名 Hidemi Takahashi	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 625-652
3. 書名 Syriac Christianity in China, in Daniel King (ed.), The Syriac World	

1. 著者名 Namiie Tsujigami	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Palgrave	5. 総ページ数 149-166
3. 書名 Stealth Revolution: Saudi Women's Ongoing Social Battles, in Sahar Khamis and Amal Mili (eds.), Arab Women's Activism and Socio-Political Transformation: Unfinished Gender Revolutions	

1. 著者名 Yohei Kondo	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Georg Olms	5. 総ページ数 221-234
3. 書名 Ibadi Policy on Education and Learning in the Premodern Period, in A. al-Salimi and R. Eisener (eds.), Oman, Ibadism and Modernity	

1. 著者名 Hidemi Takahashi	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Peeters	5. 総ページ数 245-266
3. 書名 Armenian Garshuni (Armenian in Syriac Script) and Its Users, in H. Teule, E. Keser-Kayaalp, K. Akalin, N. Doru & M.S. Toprak (eds.), Syriac in Its Multi-Cultural Context: First International Syriac Studies Symposium, Mardin Artuklu University, Institute of Living Languages, 20-22 April 2012, Mardin	

1. 著者名 Asuka Tsuji	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 209-220
3. 書名 Wearing the Blue Turban Again: Christian Reconversions in Mamluk Egypt, in Katsumi Fukasawa et al. (eds.), Religious Interactions in Europe and the Mediterranean World: Coexistence and Dialogue from the Twelfth to the Twentieth Centuries	

1. 著者名 菊地達也 (編著)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 128
3. 書名 イスラム教の歴史	

1. 著者名 Namie Tsujigami	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Palgrave	5. 総ページ数 149-166
3. 書名 Stealth Revolution: Saudi Women's Ongoing Social Battles, in Arab Women's Activism and Socio-Political Transformation	

1. 著者名 阿部尚史	4. 発行年 2020年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 365
3. 書名 イスラーム法と家産 19世紀イランの家・相続・女性	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-



## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	桑原 尚子  (Kuwahara Naoko)  (10611361)	早稲田大学・法学学術院・その他(招聘研究員)    (32689)	
研究分担者	阿部 尚史  (Abe Naofumi)  (20589626)	お茶の水女子大学・基幹研究院・助教    (12611)	
研究分担者	近藤 洋平  (Kondo Yohei)  (20634140)	東京大学・大学院総合文化研究科・特任助教    (12601)	
研究分担者	辻上 奈美江  (Tsuji gami Namie)  (30584031)	上智大学・総合グローバル学部・准教授    (32621)	
研究分担者	菊地 達也  (Kikuchi Tatsuya)  (40383385)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・准教授    (12601)	
研究分担者	山口 昭彦  (Yamaguchi Akihiko)  (50302831)	聖心女子大学・文学部・教授    (32631)	
研究分担者	辻 明日香  (Tsuji Asuka)  (60549509)	川村学園女子大学・文学部・准教授    (32514)	